



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月12日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL) 04(7094)5581
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,115	10.1	192	217.9	168	469.4	152	186.5
27年3月期第2四半期	1,921	△1.6	60	△24.1	29	△28.6	53	△43.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	17.03	—
27年3月期第2四半期	5.09	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	6,598	985	14.9	43.06
27年3月期	6,489	837	12.9	26.58

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 985百万円 27年3月期 837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00			
28年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,950	6.5	150	273.4	100	—	70	105.4	7.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	10,453,920株	27年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,511,612株	27年3月期	1,511,412株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	8,942,443株	27年3月期2Q	10,435,177株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による財政・金融政策等を背景に企業業績や雇用情勢が改善し、景気は緩やかな回復基調を辿りました。しかしながら、中国経済の成長鈍化と新興国経済の減速や不安定な情勢が続く欧州諸国の動向等、国内経済に及ぼす影響が懸念されております。

リゾートホテル業界におきましては、円安を背景とした訪日外国人の増加に加え景気の回復により国内の旅行需要も活発化し、宿泊を中心として好転してまいりました。

そのような状況の中で当社は、販売力の強化並びに収益力の回復を主要課題として取組んで参りました。主力ホテルである鴨川グランドホテルは、ネット集客に力をつけた結果、露天風呂の増設と大浴場の改装効果もあり、個人客を中心に増加いたしました。また、ビジネスホテルは訪日外国人の増加もあり、引き続き高稼働を維持しております。その他事業所も、ネットでの販路拡大が軌道に乗りつつあり概ね好調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間の営業収益は2,115百万円と前年同四半期と比べ194百万円(10.1%)の増収となり、営業利益192百万円(前年同四半期比217.9%増)、経常利益168百万円(前年同四半期比469.4%増)、四半期純利益152百万円(前年同四半期比186.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ108百万円増加し、6,598百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ189百万円増加し、1,367百万円となりました。これは主に、未収入金が75百万円減少したものの、現金及び預金が264百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ80百万円減少し、5,231百万円となりました。これは主に、建物が92百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ34百万円減少し、4,891百万円となりました。これは主に、買掛金が36百万円増加したものの、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が59百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3百万円減少し、722百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ147百万円増加し、985百万円となりました。これは主に、四半期純利益152百万円の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ264百万円増加し、1,083百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は315百万円(前年同四半期に比べ45百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益174百万円に、減価償却費123百万円の非資金損益項目を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は9百万円(前年同四半期は262百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産69百万円の取得による支出があったものの、差入保証金(未収入金計上)70百万円の回収による収入及び固定資産8百万円の売却による収入があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は59百万円(前年同四半期に比べ9百万円の増加)となりました。これは主に、借入金59百万円の返済による支出があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細は、平成27年11月6日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	818,786	1,083,536
売掛金	177,253	166,177
たな卸資産	46,166	49,724
未収入金	80,854	5,493
その他	57,589	64,030
貸倒引当金	△2,940	△1,961
流動資産合計	1,177,708	1,367,001
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,121,835	12,121,007
減価償却累計額	△8,478,911	△8,570,588
建物(純額)	3,642,923	3,550,419
構築物	513,208	513,958
減価償却累計額	△462,855	△464,369
構築物(純額)	50,353	49,589
機械及び装置	227,796	227,796
減価償却累計額	△186,110	△187,756
機械及び装置(純額)	41,685	40,039
車両運搬具	27,182	23,532
減価償却累計額	△25,281	△22,021
車両運搬具(純額)	1,900	1,510
工具、器具及び備品	836,579	834,639
減価償却累計額	△744,603	△737,157
工具、器具及び備品(純額)	91,976	97,481
土地	1,076,231	1,075,066
リース資産	91,586	98,791
減価償却累計額	△62,724	△66,748
リース資産(純額)	28,861	32,042
有形固定資産合計	4,933,932	4,846,149
無形固定資産	45,742	43,893
投資その他の資産		
投資有価証券	137,015	130,571
差入保証金	169,700	169,700
保険積立金	718	718
その他	40,374	56,066
貸倒引当金	△15,199	△15,199
投資その他の資産合計	332,609	341,857
固定資産合計	5,312,284	5,231,900
資産合計	6,489,992	6,598,902

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,779	121,591
短期借入金	3,841,450	3,800,212
1年内返済予定の長期借入金	527,782	509,209
未払金	42,794	19,103
未払費用	223,913	224,191
未払法人税等	14,678	31,794
未払消費税等	36,283	45,280
賞与引当金	29,800	29,551
その他	124,752	110,650
流動負債合計	4,926,233	4,891,584
固定負債		
繰延税金負債	18,253	15,990
退職給付引当金	137,620	143,071
役員退職慰労引当金	17,791	17,791
長期預り保証金	514,362	508,672
その他	38,043	36,715
固定負債合計	726,070	722,240
負債合計	5,652,303	5,613,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△321,936	△169,685
自己株式	△4,335	△4,410
株主資本合計	799,077	951,252
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,610	33,824
評価・換算差額等合計	38,610	33,824
純資産合計	837,688	985,077
負債純資産合計	6,489,992	6,598,902

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業収益	1,921,736	2,115,745
営業費用	1,861,256	1,923,504
営業利益	60,480	192,241
営業外収益		
受取保険金	3,582	11,452
助成金収入	37	653
その他	11,856	8,524
営業外収益合計	15,476	20,630
営業外費用		
支払利息	46,285	44,396
その他	116	199
営業外費用合計	46,401	44,596
経常利益	29,554	168,275
特別利益		
受取補償金	71,637	10,130
特別利益合計	71,637	10,130
特別損失		
固定資産売却損	94	-
固定資産除却損	38,614	3,430
特別損失合計	38,708	3,430
税引前四半期純利益	62,483	174,975
法人税、住民税及び事業税	9,340	22,725
法人税等合計	9,340	22,725
四半期純利益	53,143	152,250

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	62,483	174,975
減価償却費	126,479	123,963
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,281	△978
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	△249
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,914	5,451
受取利息及び受取配当金	△1,024	△1,138
支払利息	46,285	44,396
受取補償金	△71,637	-
固定資産除売却損益(△は益)	20,271	3,430
売上債権の増減額(△は増加)	41,234	11,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,009	△3,558
前払費用の増減額(△は増加)	△6,045	△8,849
未収入金の増減額(△は増加)	64,552	4,442
仕入債務の増減額(△は減少)	41,982	36,811
未払金の増減額(△は減少)	△859	△859
未払費用の増減額(△は減少)	17,294	393
未払消費税等の増減額(△は減少)	△272	9,682
前受金の増減額(△は減少)	△22,089	△17,151
預り金の増減額(△は減少)	△5,659	512
預り保証金の増減額(△は減少)	△4,850	△5,690
その他の固定負債の増減額(△は減少)	-	△400
長期前払費用の増減額(△は増加)	-	△16,596
その他	1,811	10,238
小計	326,155	369,900
利息及び配当金の受取額	860	953
利息の支払額	△46,239	△44,593
法人税等の支払額	△10,568	△10,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	270,208	315,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△262,532	△69,533
固定資産の売却による収入	277	8,415
投資有価証券の取得による支出	△599	△599
投資有価証券の売却による収入	314	-
差入保証金の差入による支出	△6	-
差入保証金の回収による収入	-	70,918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262,545	9,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△18,937	△41,237
長期借入金の返済による支出	△31,070	△18,572
自己株式の取得による支出	△246	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,254	△59,885
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△42,591	264,750
現金及び現金同等物の期首残高	586,731	818,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	544,140	1,083,536

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,541,981	311,641	1,853,622	68,114	1,921,736	—	1,921,736
セグメント利益 又は損失(△)	77,744	22,684	100,429	△8,082	92,346	△31,866	60,480

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額 △31,866千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,704,664	343,742	2,048,407	67,338	2,115,745	—	2,115,745
セグメント利益 又は損失(△)	186,874	40,738	227,612	△2,450	225,161	△32,920	192,241

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額 △32,920千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、従来「リゾート関連」に含まれていた「アジュールーノ宮」について事業用資産から売却目的の不動産への切替に伴い、「その他」に変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法より作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。